

**本年、詳細調査候補地が  
2度目の冠水  
10月12日 台風19号で！**

今号では、指定廃棄物最終処分場詳細調査候補地が、前号でお知らせいたしました7月24日(水)の大雨に引き続き、10月12日(土)の台風19号による記録的な豪雨で、本年において、再び、2度目の冠水がありました。

今回の台風19号で、候補地が冠水することが予想されましたので、台風前日に、冠水したことが後日に確認できるための手法を設置しました。つきましては、冠水したことが確認できるための手法、当時の気象状況、雨量状況、候補地の冠水状況等について、お知らせいたします。

**前日に設置した冠水を確認できるための手法とは！**

**① ビーチボールや空のペットボトルを結んで設置**

ビーチボールを紐で杭に結んで設置。空のペットボトルは紐で縛り、トラロープに結びつけて、木と木に結び付けた。(2箇所 ペットボトル3本ずつ)

**② 測量用ポール(マイポール)に白い布を巻き付けて設置**

測量用ポール(マイポール)に、白い布を巻き付けて、立木等に縛り付けた。(7箇所)

**③ 立木に白い布を巻き付けて設置**

冠水が予想される杉の立木に、白い布を巻き付けた。(1箇所)

**④ 監視カメラを設置**

候補地対岸に、イノシシやシカの出没状況を見るための、赤外線監視カメラを2台、立木に縛って設置。動物が動けば、撮影できるシステムであるため、ビーチボールや空のペットボトルを杭等に縛り付けた。

**前日、当日、翌日の気象状況は！  
(宇都宮地方気象台発表)**

**前日 10月11日(金)**

22...07 大雨、雷、強風注意報 発表

**当日 10月12日(土)**

6...19 洪水注意報 発表  
13...44 大雨、洪水、暴風警報 発表  
18...45 土砂災害警戒情報 発表  
19...50 大雨特別警報 発表

**翌日 10月13日(日)**

2...20 大雨特別警報 解除  
4...25 土砂災害警戒情報 解除  
4...58 大雨、洪水、暴風警報 解除

**10月12日(土)の雨量状況は！**

候補地上流部に設置されている、上寺島の(堤)上の原雨量観測局では、日降水量346mmを観測。

また、宇都宮地方気象台の県内全14観測地点の中で、塩谷観測所(田所)が、

413.5mmで日降水量が観測史上最大であった。

**候補地の冠水状況は！**

翌々日の14日(月・祝) 町営豊月平放牧場より西荒川林道を抜けて、候補地に向かう。牧場より約600m付近で、林道の約3分の2が崩落していることを確認。午前10時30分、候補地に入る。冠水状況は、次のとおりであり、候補地が冠水していることを確認しました。

**① 倒れかかった杉の立木は！**

〔台風前日〕 斜めに傾いてはいるものの、倒れてはいない。



〔台風後〕

完全に倒れていた。倒木した根の一番上に、ビニール袋が引っかかっていた。河床から約1.4mの高さに引っかかっていた。これより水位が上まで上昇したのかも？



**② 設置したビーチボールやペットボトルは！**

〔台風前日〕 川から約2mの位置に設置。



〔台風後〕

仕掛けたビーチボールやペットボトルは、減水して引き込まれるように川の方に引っ張られていた。ペットボトルには、砂や泥水が、たくさん入っていた。



**③ 測量用ポールや立木に巻きつけた白布は！**

〔台風前日〕 測量用ポールは川から5m奥の位置に設置。また、立木には、25m奥の位置に設置。



裏面あり↓



〔台風後〕  
川が増水して、候補地に流れ込んでいく様子がわかる



④ 設置した監視カメラは！  
〔台風前日〕  
候補地対岸の立木に、針金で縛り付け、2台設置した。



〔台風後〕  
測量用ポールに巻き付けた布は、泥水で約0.6m汚れていた。また、立木の布は、泥水で約0.4m汚れていた。増水して候補地を越え、再び、川に注いで横断して流れ、再び、川に注いだ。



〔台風後〕  
増水で候補地がえぐられ、川をまたぐように倒れていた。根元の部分まで、川面に落ちていた。



⑤ 浸食された候補地の立木1本は！  
〔台風前〕  
まっすぐ立っていた。  
〔赤印部分〕

平成27年9月の関東・東北豪雨による詳細調査候補地について、環境省が実施した影響調査結果、候補地が冠水したことが確認されました。このことを受けて、同年11月20日 町民報告会を開催し、詳細調査候補地の被害状況を報告。豪雨により冠水した詳細調査候補地は、選定要件を満たしていないことから、町民の総意として、環境省に「候補地選定結果の返上」を満場一致で決め、12月7日 当時の井上環境副大臣に

候補地選定要件を満たしていないことが、三度、証明されました！

〔台風後〕  
2本とも、流されていた。



⑥ 浸食された候補地の倒れかかっていた立木2本は！  
〔台風前〕  
1本は傾いてはいたが、もう一本は、まっすぐに立っていた。  
〔赤印部分〕

『候補地選定結果の返上』の文書を手交しております。  
候補地は、本年の7月24日の大雨と今回の台風19号により、1年間に2度も冠水したことになります。

候補地付近は、山からの距離が短く、急傾斜地であるため、短時間に水位が上昇。候補地と西荒川の段差がないことから、一気に増水、河川からあふれ出した水が越水し、候補地内を冠水、再び、西荒川に流れました。

町は、約100mm以上の大雨が降ると冠水すると考えますが、候補地付近に設置された(懸上の原雨量観測局(上寺島の昭和50年から現在までの44年間で、56回もあります)。

実際に冠水が確認されたのが、平成27年9月の関東・東北豪雨、本年の7月24日の大雨、そして、今回の台風19号の3度であります。

このように、候補地が現実に冠水したという事実があり、候補地選定要件を満たしておらず『選定されるに値しない土地』であり、まさに、『候補地にあらず』です。

今回の冠水により、明確に、候補地が候補地選定要件を満たしていないことが、三度、証明されました。